

専業投資家という、罫。



なぜ「兼業」こそが、投資家としての理想形なのか

「自分の好きなことだけやって、自由に過ごしたい」

多くの投資家が、この想いを実現するために日々努力を重ねています。

投資の利益だけで生活する「専業投資家」という響きには、特別な魅力があります。

しかし、その夢の先に待っている現実は、あなたが想像するものとは違うかもしれません。

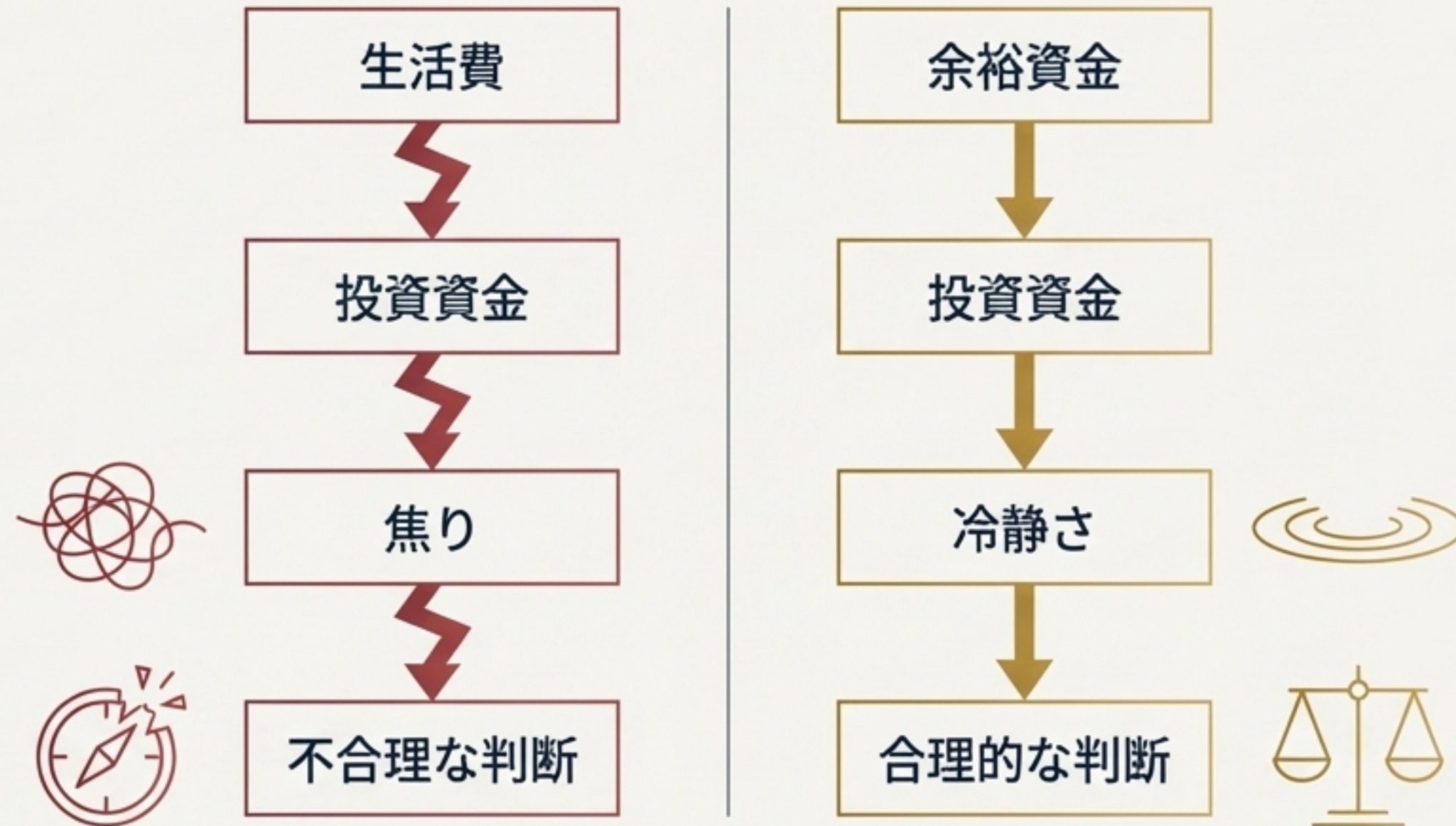


結論：専業投資家は、望ましくない。



なぜなら、**投資の成績がメンタルに直結しすぎる**からです。
生活のすべてが相場に左右されるプレッシャーは、
冷静な判断を狂わせる最大の要因となります。

すべての土台は「資金的な余裕」にある



「投資は余裕資金で」という原則は、単なるリスク管理ではありません。それは、メンタルを正常に保つための生命線です。給料のほとんどや生活費を投資に回す状態では、思考は「稼がないと、損は出せない」という焦りに支配されてしまいます。それはもはや、投資ではなくギャンブルに近い精神状態です。

私の実体験：夢の実現

私もかつて、専業投資家になることを夢見ていました。幸いなことに、2005年前後の仕手相場で大きな利益を上げ、その夢を実現することができました。2008年のリーマンショックも乗り越え、専業投資家としてのキャリアを歩んでいました。

2008

リーマンショックを
乗り越える

2005

専業投資家になる

「いざなってしまうと、 達成感が尽きてしまいました。」

目標を達成した安堵感の先にあったのは、目的を失ったことによる虚しさでした。
投資は原則として一人で行うため、社会との繋がりが希薄になり、強い孤独を感じるようになりました。

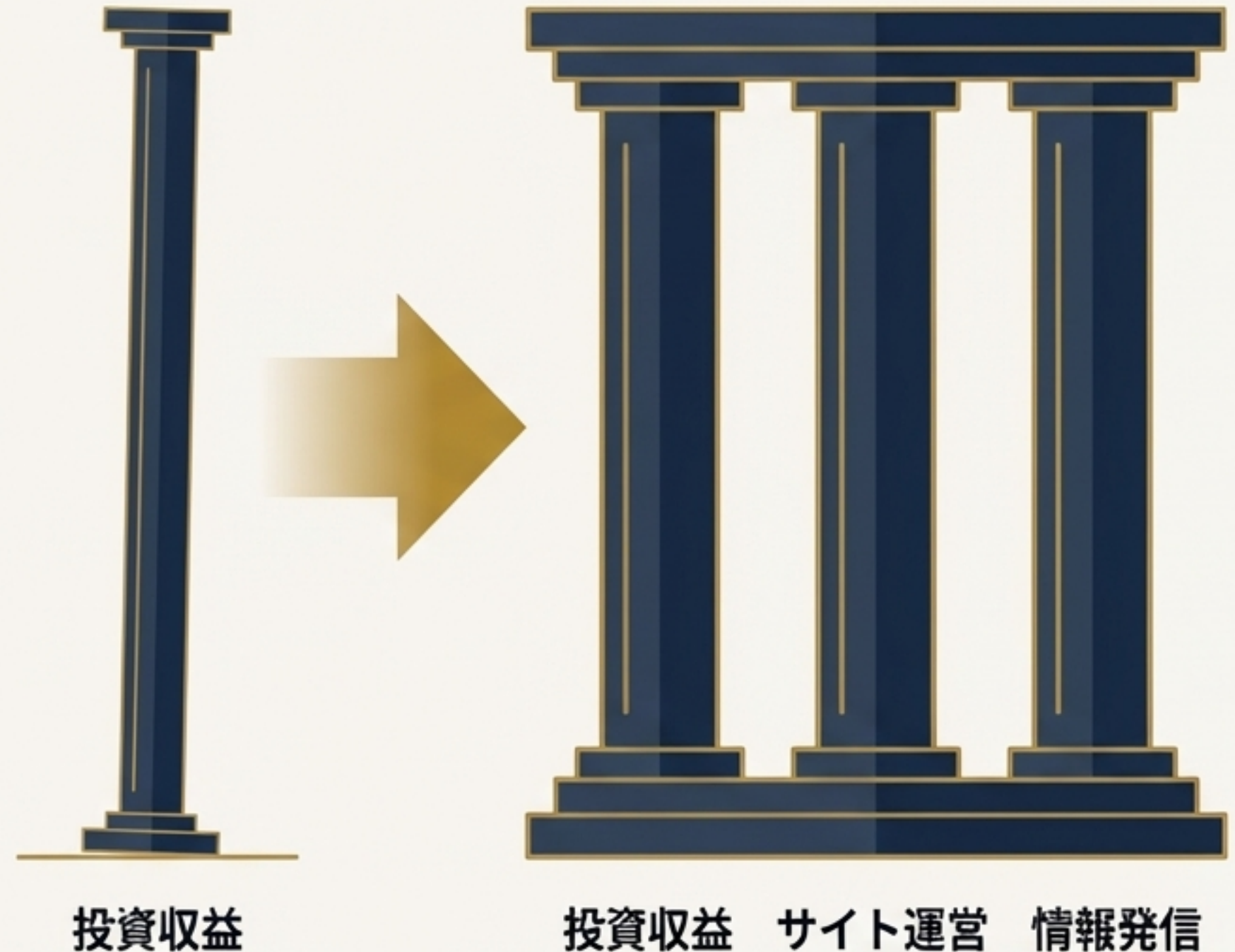
Noto Sans JP

新たな道への転換

その虚しさを埋めるため、そして新たな収益源を求めて、2016年からサイト運営を始めました。

最初は利益が目的でしたが、次第に「自分の経験が、誰かの役に立つかもしれない」という想いが強くなりました。

「仕手株投資による利益」だけでなく、「仕手株を軸とした投資以外の利益」へと、意識的にポートフォリオを広げていきました。



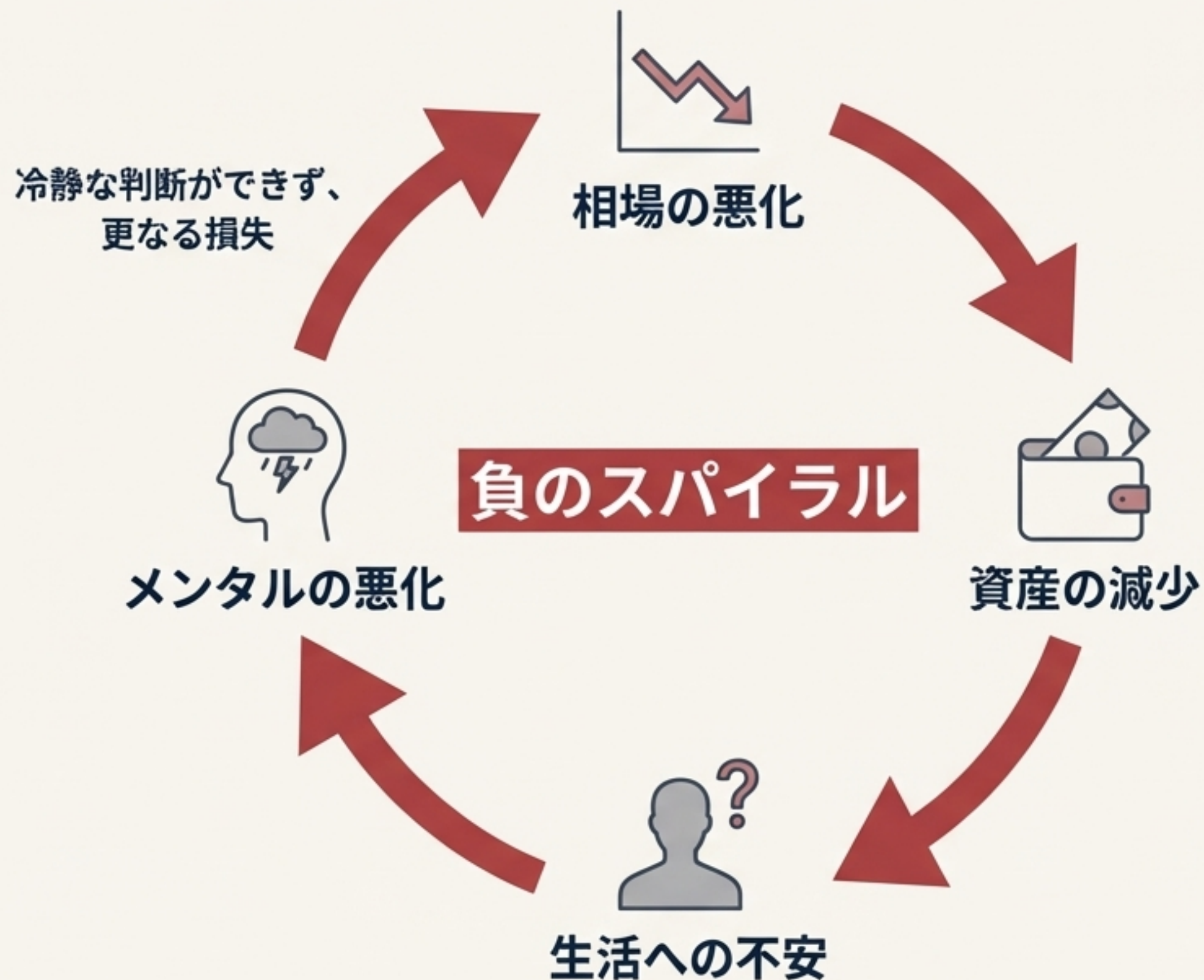
そして、思わぬ発見があった



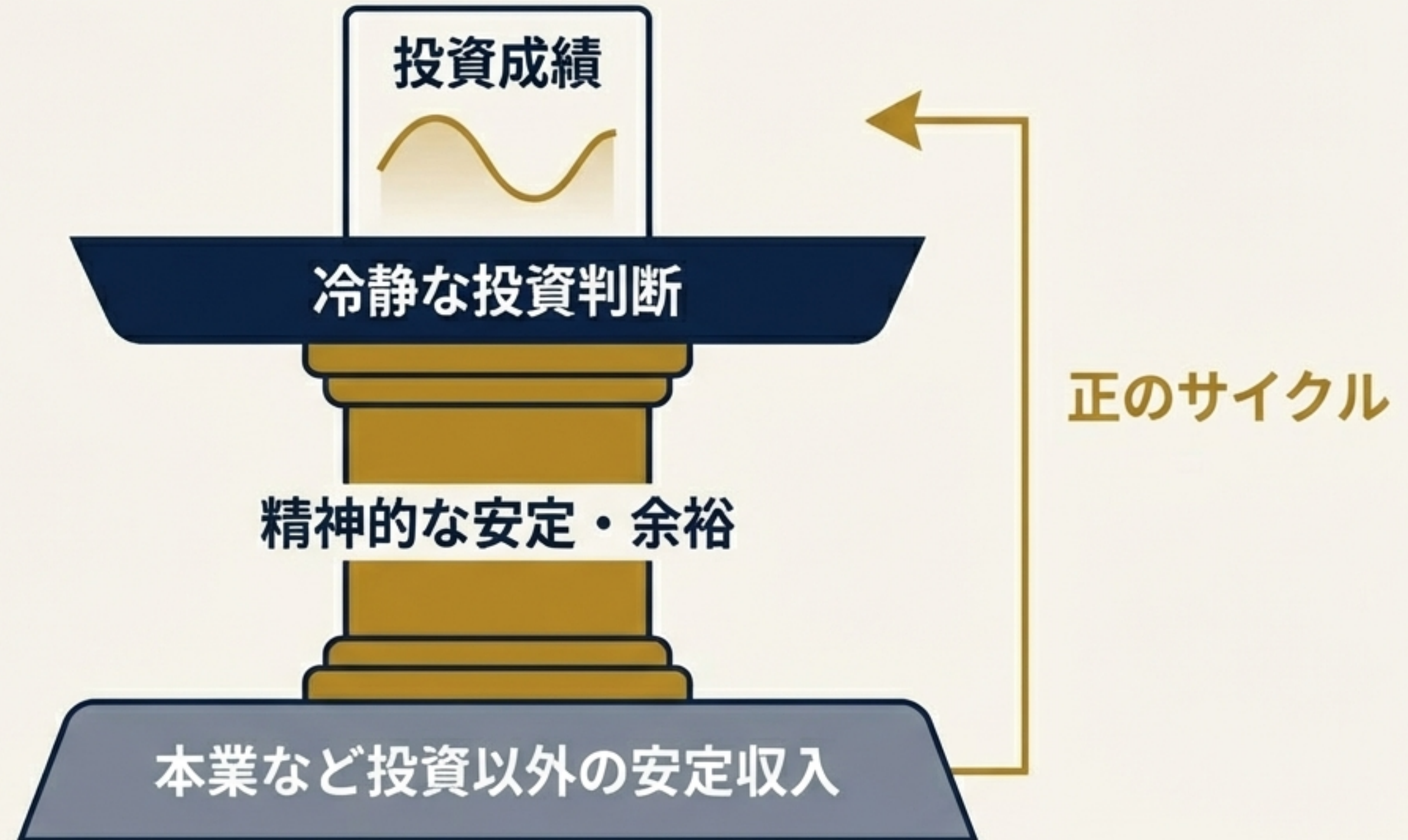
「投資以外にも収入があることが、 投資成績を安定させてくれる」

この事実は、頭では分かっていたはずでした。しかし、身をもって体験した衝撃は絶大でした。「専業投資家」という肩書へのこだわりが、自分自身を精神的に追い詰めていたことに気づかされたのです。

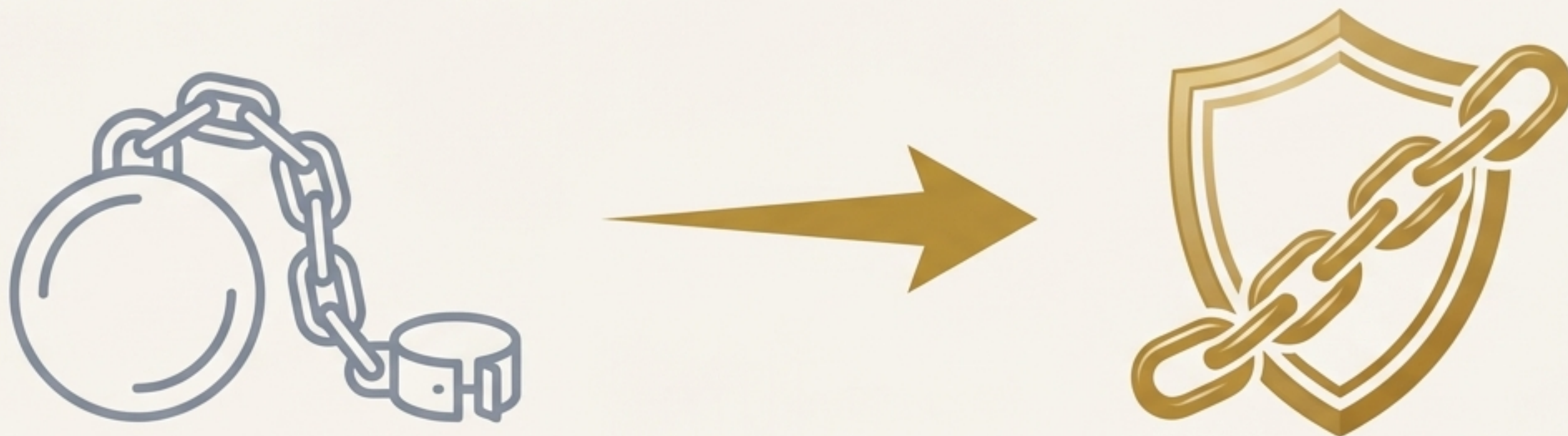
専業投資家のメンタル・サイクル



兼業投資家の安定構造



あなたの本業は、足枷ではなく「最強の武器」である



結論として、「投資成績は資金的余裕にかなり影響される」という事実を受け入れることが重要です。今、会社を辞めたいと思っているかもしれませんが、その安定収入こそが、あなたの投資パフォーマンスを支える生命線なのです。

真の自由とは、 一つの収入源に 依存しないこと

専業投資家になることがゴールではありません。複数の収益源を築き、経済的にも精神的にも盤石な基盤の上で、冷静に市場と向き合う。それこそが、長期的に成功し続ける投資家の理想形です。

